

鋼構造物用耐候性塗料(弱溶剤フッ素DP)

DP仕様

## ファインDFセラミックST

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

公共建築工事標準仕様書・公共建築  
改修工事標準仕様書 DP仕様対応JIS K 5659  
鋼構造物用耐候性塗料  
A種上塗り塗料 1級  
JP0509005

## 特 長

- ① JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 A種上塗り塗料1級に合格しています。
- ② 耐候性・耐水性にすぐれています。
- ③ 環境にやさしい弱溶剤タイプです。
- ④ 塗料用シンナーAで希釈できるため、塗装作業性にすぐれます。

## 用 途

建築物の鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面で、高耐候性を求められる箇所の上塗り。

## 塗装仕様

公共建築改修工事標準仕様書 鉄鋼面耐候性塗料塗り

## 下地調整

工 程	種別			塗料 その他	面の処置
	RA種	RB種	RC種		
1 既存塗膜の除去	○	—	—	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、塗膜、錆等を全面除去する。
	—	○	—	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化しづらい弱な部分、錆等を除去し、活膜は残す。
2 汚れ、付着物除去	○	○	○	—	素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3 油類除去	○	○	—	—	既存塗膜を除去した範囲を溶剤ぶき
4 研磨紙ざり	○	○	—	研磨紙P120～220	全面を平らに研磨し、研磨かす等を除去する。
	—	—	○	研磨紙P240～320	

(注) 新規鉄鋼面に塗装を行う場合は、RA種とし、工程1を省略する

## 塗装工程

工程※1	種別			商品名(規格名称・規格番号・等級)	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り回数	塗り重ね時間 (23℃)	シンナー名(希釈率)
	A種	B種	C種					
下地調整	○	—	—	RA種				
	—	○	—	RB種				
	—	—	○	RC種				
1 下塗り (1回目)	○	—	—	ニッペジキ 8000メタルグレー (JIS K 5552 ジンクリッチプライマー 2種)	0.14	1	16時間以上 6ヶ月以内	ニッペジキ 8500シンナー はけ・ローラー:0～5% エアレススプレー:5～15%
	—	○	○	ハイボン20ファイン <sup>※2</sup> (JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー)			16時間以上 10日以内	塗料用シンナー A はけ・ローラー:0～10% エアレススプレー:0～5%
2 下塗り (2回目)	○	—	—	ハイボン30マッシュプライマー K (JIS K 5551 構造物用さび止めペイント A種)	0.14	1	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシシンナー はけ・ローラー:0～5% エアレススプレー:0～10%
	—	○	—	ハイボン20ファイン <sup>※2</sup> (JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー)			16時間以上 10日以内	塗料用シンナー A はけ・ローラー:0～10% エアレススプレー:0～5%
3 下塗り (3回目)	○	—	—	ハイボン30マッシュプライマー K (JIS K 5551 構造物用さび止めペイント A種)	0.14	1	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシシンナー はけ・ローラー:0～5% エアレススプレー:0～10%
4 研磨紙ざり	○	○	○	研磨紙P120～220				
5 中塗り <sup>※3</sup>	○	○	○	ファイン中塗りDP (JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料A種中塗り塗料)	0.14	1	3時間以上 10日以内	塗料用シンナー Aまたは塗料用シンナー SA はけ・ローラー:0～10% エアレススプレー:0～5%
6 上塗り	○	○	○	ファインDFセラミック ST (JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料A種上塗り塗料 1級)	0.10	1	—	塗料用シンナー A はけ・ローラー:0～10% エアレススプレー:0～5%

※1 塗り替えにおける各工程の実施については、公共建築改修工事標準仕様書7章「塗装改修工事」内8節「耐候性塗料塗り(DP)」の7.8.2「鉄鋼面の耐候性塗料塗り」に基づいてください。

※2 ハイボンファインプライマーⅡもご使用いただけます。

※3 中塗りのJIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料A種中塗り塗料には、デュフロン100ファイン中塗りもご使用できます。公共建設[改修]工事標準仕様書の耐候性塗料塗り(DP塗り)としてご使用の場合には、塗り重ね乾燥時間が異なります。公共建設[改修]工事標準仕様書に準拠した施工を実施する場合、公共建設[改修]工事標準仕様書で規定された塗り重ね乾燥時間にてご使用をお願いします。

★ 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

★ 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。

## 容量・色相

ファインDFセラミック ST: 15kgセット(塗料液: 硬化剤=13.5kg: 1.5kg)

3kgセット(塗料液: 硬化剤= 2.7kg: 0.3kg)

色相: ホワイトおよび各色(つや有り)

※ファインDFセラミックとは成分内容、混合比が異なりますのでファインDFセラミックとファインDFセラミック STの混合及び硬化剤の共通利用はできません。



## 性能 (JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 A種上塗り塗料1級)

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かくはん(攪拌)したとき、硬い塊がなくて一様になる	合格
表面乾燥性	表面乾燥する。	合格
塗膜の外観	正常である。	合格
ポットライフ	5時間	合格
隠ぺい率(%)	白・淡彩色は90以上、鮮明な赤及び黄は50以上、その他の色は80以上	97
鏡面光沢度(60度)	70以上	82
耐屈曲性	折り曲げに耐える。	合格
耐おり落下性	塗膜に割れ及び剥がれが生じない。	合格
層間付着性II	異常がない。	合格
耐アルカリ性	異常がない。	合格
耐酸性	異常がない。	合格
耐湿潤冷熱繰返し性	湿潤冷熱繰返しに耐える	合格
加熱残分(%)	白・淡彩色は50以上、その他の色は40以上	60
促進耐候性	照射時間2000(500)時間後に、塗膜に割れ、膨れ及び剥がれがなく、色の変化が大きくなく、白亜化の等級は1又は0、光沢保持率は80%(90%)以上である。	合格
屋外暴露耐候性	塗膜に割れ、膨れ及び剥がれがなく、色の変化が大きくなく、白亜化の等級は1又は0、光沢保持率が60%以上である。	合格

・製品安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
 ・屋外暴露耐候性の結果が得られた後の促進耐候性における照射時間、光沢保持率は活弧内の値とする。

## 使用方法

混合	2液形のため「塗料液/硬化剤=9/1(重量比)」により混合し、十分にかくはんしてください。
ポットライフ	5時間(23℃)
希釈剤	塗料用シンナーA

## 使用上のご注意

1. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
2. 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
3. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
4. 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
5. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
6. 硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
7. 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
8. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
9. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
10. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
11. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
12. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
13. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
14. 上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠ぺい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板等で確認下さい。
15. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
16. 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
17. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
18. 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
19. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101  
 東北支店 ☎022-232-6711  
 関東支店 ☎03-5479-3614  
 北関東信越支店 ☎03-5479-3614  
 中部支店 ☎052-461-1960  
 近畿支店 ☎06-6455-9608  
 中国支店 ☎082-281-2180  
 四国支店 ☎0877-56-2346  
 九州支店 ☎092-751-9861

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。  
 ●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。  
 ●©Copyright 2025 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.  
 ●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-D138

TY251005T

2025年10月現在